

鎮魂朗読劇

ぬばたまの淵

白峯に響く、祈りの声

鬼と呼ばれた帝に、
一人の僧が語りかける。
八百年を越えた対話が、
いま始まる。

保元の乱に敗れ、讃岐へ流された崇徳上皇。
無念のままこの世を去った帝は、
「日本一の大魔縁」と恐れられる存在となった。
時は流れ、西行法師が白峯を訪れる。
そこで待っていたのは、鬼ではなく、
人を想い続けた一人の帝であった。

「雨月物語」「白峯」をもとに紡ぐ、
新たな鎮魂朗読劇。

崇徳上皇
森川 翔太

西行法師
上坂 英俊

ふち

2026年

9月23日(水・祝)

① 13:00 開演 | ② 16:30 開演

※開場は開演の30分前

会場

金山けいの里

香川県坂出市江尻町1671

◆無料駐車場有り

木曾義基 村井飛斗 (特別出演)

鎮魂の地・讃岐白峯を舞台に
崇徳上皇の悲しみと西行法師の慈悲が交わる。
東京で上演され続けていた作品が
初めて讃岐の地で奉納される。

チケット(全席自由席)
5,000円(税込)



チケットフォーム

公演内容お問合せ
☎090-8226-0299
(小出)

チケットお問合せ
☎03-5385-1000
演劇集団アトリエッジ

金山けいの里へのアクセスマップ

主宰 「ぬばたまの淵」香川実行委員会

